

第1部・第2部

- ・ 義歯と文化について
- ・ 総義歯臨床のおさえどころ  
～歯科技工士に必要な解剖学～

佐藤 幸司 先生



開催コード 98-11301  
受講単位 5単位

開催日

2023年10月8日(日)

第1部・第2部

13:30～17:00

(受付13:15～)

懇親会あり 香園 17:30～

参加費 4,400円

オンライン

40名(参加費無料)

会場受講

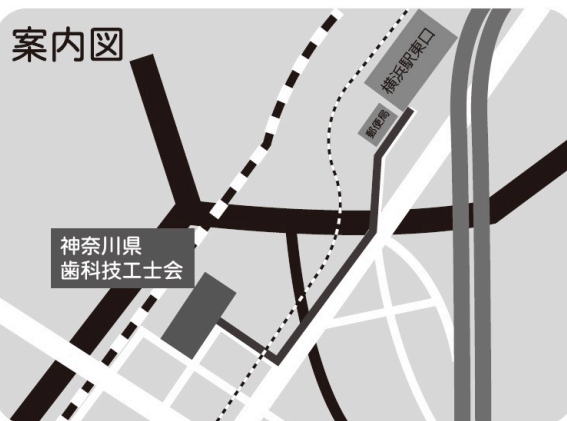
20名(参加費無料)

会場：神奈川県歯科技工士会 大会議室

神奈川県横浜市西区平沼1-40-17 モンテベルデ横浜2階

注意事項

オンライン参加の方は開会や休憩明け等は顔出しをお願いします  
(日技申請のために出席確認をさせていただきます)



[←申込フォームはこちら](#)

# 令和5年度基本研修会抄録

開催日：2023年10月8日(日)

## 演題：義歯と文化について

講師：佐藤 浩司

**内容：**私たちが歯科技工の職業に従事することによって、いわゆる「社会人」となり、その医療活動を通じて社会に寄与・貢献することができると思う。また個人が職業に就いて働くのは、暮らしを立て、自らの生計や家計を維持するためばかりではなく

歯科技工を通じて歯科医療活動を遂行する中で、自己の能力や個性、持ち味等を活かしたり、発揮したりしており、そのことによって働きがいや生きがいを感じ、充実した歯科技工人生を送ることができるのであると思う。

そのためには、ライフ・ワークとして歯科技工に自己の能力や個性、持ち味等を活かすことが大切となる。

## 演題：総義歯臨床のおさえどころ～歯科技工士に必要な解剖学～

講師：佐藤 浩司

**内容：**歯科補綴装置(総義歯)は単なる制作物ではなく、消化器官での人工臓器である顔貌を構成する身体的臓器の一部です。昨今、歯科補綴装置は”人工臓器”としての役割が求められています。

そこで今回の講演では咬合を支える組織の数値「量」から生理学的、機能的咬合を構築する必要性があると考え、新しい時代に適応した歯科補綴装置制作の咬合について、また最近の総義歯臨床について、臨床的ポイントを皆様とともに考察したいと思います。